



TOSAGENJI

上演 **50** 周年

坂本長利
米寿記念公演

NHKドキュメンタリー番組
『ETV特集』密着取材中、来春放送予定！

独演劇

土佐源氏

出雲で生まれ育った坂本長利、88歳となる日本演劇界の至宝が39年ぶりのふるさと公演！

民俗学者・宮本常一著『忘れられた日本人』に収められている『土佐源氏』は、著者が昭和16年の冬に高知の山奥・梶原（ゆすはら）で出会った盲目の元馬喰（ばくろう・牛馬仲買人）から聞いた話をもとに書かれたもの。ひたむきに生き愛した男の一代記は「色懺悔」という言葉では収まりきれない美しさを放つ。坂本長利が舞台化して昭和42年に初演。88歳となる今年には上演50周年にあたり、国内外で1180回を超える舞台に立ち続けている。

平成29年

10月8日(日) 開演 15時
(開場 14時30分)

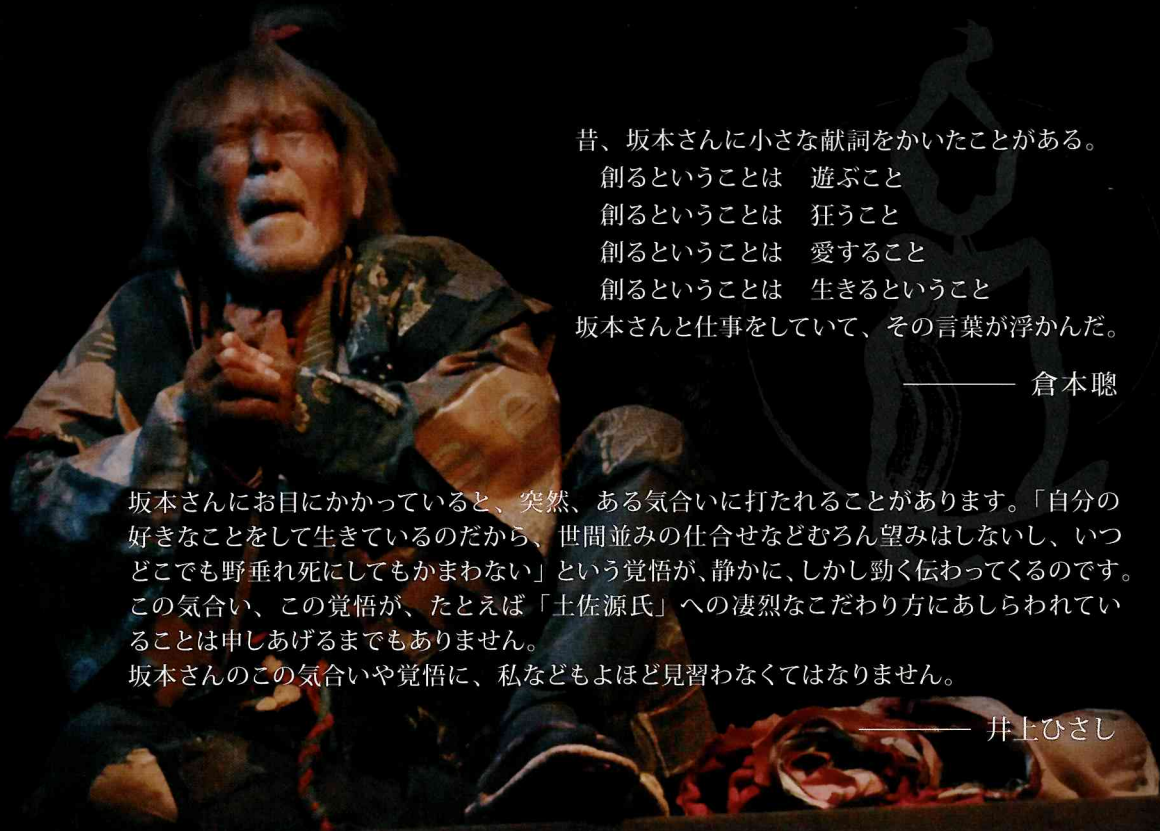
会場 ビッグハート出雲 白のホール

料金 全席自由
一般:2,500円(当日3,000円)
学生:2,000円

主催: 響和堂
後援: 島根県 島根県教育委員会
公益財団法人しまね文化振興財団
出雲市 出雲市教育委員会
公益財団法人出雲市芸術文化振興財団
独立メディア塾 (<http://mediajuku.com>)

協力: 坂本長利ふるさと公演を応援する会
音響・照明: 梶田康裕 / 宣伝美術: 早川宣誉

土佐源氏



昔、坂本さんに小さな献詞をかいたことがある。

創るということは 遊ぶこと

創るということは 狂うこと

創るということは 愛すること

創るということは 生きるということ

坂本さんと仕事をしていて、その言葉が浮かんだ。

————— 倉本聰

坂本さんにお目にかかっていると、突然、ある気合いに打たれることがあります。「自分の好きなことをして生きているのだから、世間並みの仕合せなどむろん望みはしないし、いつでも野垂れ死にしてもかまわない」という覚悟が、静かに、しかし強く伝わってくるのです。この気合い、この覚悟が、たとえば「土佐源氏」への凄烈なこだわり方にあしらわれていることは申しあげるまでもありません。

坂本さんのこの気合いや覚悟に、私などもよほど見習わなくてはなりません。

————— 井上ひさし



坂本長利

SAKAMOTO Nagatoshi



1929年(昭和4年)、島根県出雲市生まれ。「ぶどうの会」「変身」等の劇団を経て、小劇場運動の先駆けとして活動。大劇場での商業演劇公演も含め、映画・テレビ・ラジオドラマなど、あらゆるシーンでその演技力と存在感を発揮してきた。60年以上の芸歴の中で、数多くの名だたる俳優と共演し、作家・演出家からも高い評価を得ている。テレビドラマでは『Dr. コト診療所』の村長役で親しまれた。2013年公開坪川拓史監督映画『ハーメルン』では西島秀俊、倍賞千恵子らと共に主演。代表作である独演劇『土佐源氏』は、1967年の初演以来50年間、国内のみならず海外でも絶賛され、現在1180回を超える上演回数を伸ばし続けている。2011年の胃ガン手術後も精力的に舞台に立ち続け、呼ばれたら全国どこへでも出掛けて上演する「出前芝居」を10月で88歳となる現在も展開中である。ほかに、作家・水上勉が坂本の独り語りのために書き改めた『越前竹人形』の上演も行っている。1985年紀伊國屋演劇賞特別賞、2000年旅の文化賞受賞、2017年ゆすはら未来大使(高知県高岡郡梶原町)就任。

チケットのお取り扱い

料金

全席自由

一般:2,500円(当日3,000円) | 学生:2,000円

プレイガイド

ビッグハート出雲 出雲市民会館
(松江)島根県民会館 (雲南)チェリヴァホール

響和堂

HP. <http://kyowado.jp>

Fax. 03-3610-5740

Faxでお申し込みの場合は、お名前・ご住所・Fax番号・ご連絡先電話番号・チケット枚数を明記の上、ご送信ください。

HP及びFaxでのお申し込み受付期間は10月3日(火)迄です。

以降は電話にてお問い合わせください。

※未就学児のご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ

Tel. 080-4200-0808 / E-mail. info@kyowado.jp

